

事業番号	15 09 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課		
		実施期間	H24 ～	E-mail	hokenko@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進						

1 現状と課題

- ・学校安全については、安全管理と安全教育が大切であり、その両輪を充実させていく必要がある。
- ・性の指導に関して、あらゆる教員に研修会への参加を求めているが、学級担任等の参加が少ない。（養護教諭が多い）
- ・薬物乱用防止教室の開催に関して、国の5か年戦略において位置づけを求めている学校保健計画に記載されていない学校がある。

2 事業目的

児童生徒が災害や事件・事故、性に関することなどの健康課題に関して、正しい知識を習得するとともに自らの判断により自己や他者を尊重し、健康で安全な生活を送るための資質・能力を養うため、指導する教員の指導力向上・環境整備を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①安全教育研修会の開催

- ・防災・防犯・交通安全の各領域の安全教育研修会を開催

②性に関する指導充実

- ・学識経験者やLGBT当事者を招いた全県及びミニ研修会を開催
- ・外部講師の学校への派遣



防災アドバイザーの指導

③薬物乱用防止教育研修会の開催

- ・学校における薬物乱用防止教室の指導者の養成



防災訓練の様子

④学校防災アドバイザーを学校へ派遣

- ・防災訓練や危機管理マニュアル等について、専門的見地から指導助言

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	防犯・防災・交通安全の3領域すべての安全教育研修会に3年間で参加した学校の割合	%	5.5	3.8	↘	2.6	↘	60	未達成	様々な災害や事件・事故等に対応する安全教育を継続して実施できる教員を全ての学校で養成できるよう目標指標として設定し、半分以上の学校（6割）の出席率を目標とした。	
②	性に関する指導研修会参加校の割合	%	58.6	66.2	↗	84.9	↗	82	達成	性に関する指導は広く全ての学校で組織的な対応が必要ことから成果指標として設定し、コロナ禍前の令和元年度の実績（81.5%）を目標とした。	
③	薬物乱用防止教室を開催した県立高校の割合	%	48.1	73.7	↗	78.2	↗	100	未達成	厚生労働省第5次薬物乱用防止5ヶ年戦略に高等学校において毎年1回は薬物乱用防止教室を開催することが求められているため成果指標として設定し、100%を目標とした。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R4年度	0	7,430	0	7,430	3,047	3,933	2.9
R3年度	0	7,552	18	7,570	3,213	3,030	2.9
R2年度	0	7,878	0	7,878	3,129	4,234	2.9

事業番号	15 09 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課

6 主な取組実績と成果

①安全教育研修会の開催

・防災・防犯・交通安全の各領域の安全教育研修会を1回ずつ開催し、児童生徒の生きる力を育む学校安全教育を実践する教職員の指導力向上のための取組を進めた。

②性に関する指導充実

・学識経験者やLGBT当事者を招き、全県の研修会を1回、学校の教職員が手軽に参加できるようにWebでのミニ研修会を4回開催し、教職員の性に関する専門的な知識の習得を進めた。
・学識経験者等の外部講師を学校へ派遣し、教員や児童生徒に対して講話をしてもらった。

③薬物乱用防止教育研修会の開催

・県や国の研究機関の専門家を招き、教職員、学校薬剤師、警察職員等を対象に薬物乱用防止教育研修会を1回開催し、アンケートにより満足度で93.5%を得た。

④学校防災アドバイザーを学校へ派遣

・希望する学校に対して学校防災アドバイザーを派遣し、防災訓練や危機管理マニュアル等について専門的見地から指導助言をしてもらい、実効性のあるものにすることができた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	防犯・防災・交通安全の3領域すべての安全教育研修会に3年間で参加した学校の割合	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	未達成
令和2年度から令和4年度までの3年間の実績であるが、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により3領域のうち防災、交通安全研修会が中止となったことなどが影響し2.6%となり、昨年度に引き続き目標数値を大きく下回った。							
指標②	性に関する指導研修会参加校の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いたが、研修会の中止や日程変更もなく実施することができ84.9%となり、目標（令和元年度並み）を達成することができた。							
指標③	薬物乱用防止教室を開催した県立高校の割合	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、一部の学校が開催を自粛したため78.2%となり、目標を達成できなかった。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・学校現場が多忙で余裕がない中で研修会に参加してもらうためには、危機管理意識の更なる向上と研修内容の充実が必要である。
・性の指導に関して、あらゆる教員に研修会の参加を求めているが、学校担任等の参加が少ない。（養護教諭が多い）
・薬物乱用防止教室の開催について、学校保健計画に記載されていない学校を解消することが必要である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・校長会や生徒指導主事協議会などの場を活用して危機管理に対する意識を高めるとともに、先進事例の紹介や時機を得た専門家による講義など研修内容の充実に取り組む。
・性の指導に関して、養護教諭のほか学校担任等にも参加していただけるよう、引き続き研修の内容や日程などを工夫して実施する。
・薬物乱用防止教室の開催について、学校保健計画に記載し計画的に実施するよう研修会で呼び掛けるとともに、個別に学校の実情を聞きながら実施を働き掛ける。

事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課
-----	---------------------------	----	----------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	学校安全指導力向上事業費	224 千円	133 千円	251 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	学校安全関係研修会の開催	直接	学校における安全や危機管理に係る専門的講習等を実施 防犯教育研修会（1回）、防災教育研修会（1回）、交通安全教育研修会（1回）、心肺蘇生法実技講習会（6回）、学校事故対応研修会（1回）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	性に関する指導充実事業費	1,410 千円	1,498 千円	1,538 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	性に関する指導者研修等指導者の養成	直接	学識経験者やLGBT当事者等を招き全県及びミニ研修会を開催 学校で行う性に関する指導の職員研修等へ外部講師を派遣 研修会：全県1回、ミニ4回 派遣：21校	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	学校保健・安全研修会実施事業費	559 千円	209 千円	426 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	学校保健・安全教育担当教員の指導力向上のための研修会を開催	直接	薬物乱用防止教育研修会を開催 研修会：全県1回	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	学校安全総合支援事業費	2,041 千円	1,190 千円	1,718 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	学校防災アドバイザーの派遣	直接	学識経験者等を学校防災アドバイザーとして委嘱し、モデル校となる学校へ派遣。学校防災アドバイザーは、学校に対して専門的な見地から防災訓練や危機管理マニュアルの点検に関する指導助言等を実施 25校に8名を延べ74回派遣	